



2026年8月10日

各位

会社名 株式会社 C o m i n i x
 代表者名 代表取締役社長執行役員 柳川 修一
 コード番号 3173 東証スタンダード市場
 本社所在地 大阪府中央区南本町 1-8-14
 問合せ先
 役職・氏名 取締役執行役員 管理本部 経理部長 小山慎司
 電話番号 06-7663-8208 (代表)

**2027年3月期 第2四半期(中間期)及び通期連結業績予想の修正、
 並びに中間及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ**

当社は、2026年8月10日に開催された取締役会において、2027年3月期第2四半期(中間期)及び通期の連結業績予想並びに個別業績予想、並びに中間及び期末の配当予想の修正を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想の修正(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1株当たり中 間純利益
前回発表予想(A)	21,400	486	459	322	46円88銭
今回修正予想(B)	24,000	1,000	1,000	600	87円35銭
増減額(B-A)	+2,600	+514	+541	+278	—
増減率	+12.1%	+105.8%	+117.9%	+86.3%	—

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2027年3月期通期連結業績予想の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	43,000	1,200	1,150	800	116円47銭
今回修正予想(B)	45,000	1,600	1,600	1,100	160円15銭
増減額(B-A)	+2,000	+400	+450	+300	—
増減率	+4.7%	+33.3%	+39.1%	+37.5%	—

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 2027年3月期第2四半期（中間期）及び通期個別業績予想の修正

（1）第2四半期（中間期）個別業績予想（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	11,500	407	284
今回修正予想（B）	13,000	700	400
増減額（B-A）	+1,500	+293	+116
増減率	+13.0%	+72.0%	+40.8%

（2）通期個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	23,000	800	600
今回修正予想（B）	24,000	1,000	700
増減額（B-A）	+1,000	+200	+100
増減率	+4.3%	+25.0%	+16.7%

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 配当予想の修正

	中間配当	期末配当	年間
	1株当たり配当金	1株当たり配当金	1株当たり配当金
前回発表予想（2026年5月15日公表）	20円00銭	20円00銭	40円00銭
今回修正予想	25円00銭	25円00銭	50円00銭
当期配当実績	—	—	—
前期実績（2026年3月期）	15円00銭	20円00銭	35円00銭

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけております。今回の業績予想の上方修正を踏まえ、中間配当及び期末配当をそれぞれ1株当たり5円増額し、年間配当金を1株当たり50円（前回予想比10円増配）とすることといたしました。これにより、年間配当金の支払総額は約343百万円となる見込みです。

5. 業績予想修正の理由

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）におきましては、切削工具事業において主要メーカーの製品価格改定に伴う駆け込み需要を確実に取り込んだことに加え、KMS事業を中心に半導体装置関連業界の旺盛な需要を的確に取り込んだ結果、各セグメントで想定を上回る増収増益となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12,028百万円（前年同期比30.3%増）、営業利益682百万円（同407.7%増）、経常利益708百万円（同660.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益441百万円（同1,368.9%増）と、期初の開示予想を大幅に上回って推移いたしました。

こうした状況を踏まえ、第2四半期以降を期初計画どおりと見込んだ場合においても、第2四半期（中間期）累計期間及び通期のいずれにつきましても現行の業績予想を上回る見通しとなりましたことから、上記1から3のとおり連結及び個別の業績予想を修正いたします。

また、配当予想につきましては、上記の業績予想の上方修正及び株主還元方針を踏まえ、上記4のとおり中間配当及び期末配当をそれぞれ増額修正（増配）することといたしました。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上